

泌尿器科部長 瀧内 秀和医師の前立腺に対する手術方法が、米国泌尿器科学会雑誌（2005年12月号）の表紙を飾りました！

腎臓の腹腔鏡手術には、2つの方法があり、腹腔から到達する経腹膜到達法と今回論文になった後腹膜到達法があります。後腹膜到達法では、腎臓の後面で作業腔を作製する必要があり、その際に風船で腎臓を前方へ押し出す必要があります。この腎臓の動きをCTのデータを基にシミュレーションする方法を考察し、その結果、実際の手術に有用であるとの内容で掲載に至った論文です。（泌尿器科部長・瀧内秀和）

